

# 福祉公社通信

# 羅針盤

この通信により、広く市民の皆様に、公益財団法人として、また、全国初の行政関与型在宅サービス提供機関としての福祉公社の今をお伝えします。表題の羅針盤はご利用者の生活を包括的に支援し、その人生行路を共に歩む、昭和 55 年創業時からの福祉公社のサービス基本姿勢を表したものです。

発行日 平成 25 年 11 月 10 日【第 8 号（月刊）】

東京都武蔵野市吉祥寺北町 1-9-1

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

TEL:0422-23-1165 FAX:0422-23-1164

晩秋から冬へ季節が移る 11 月です。

皆様にはお健やかに過ごしのことと存じます。

先月中旬には季節外れの暑さが到来しましたが、日毎に冷え勝り、紅葉があざやかになって行きます。紅葉前線の便りが聞かれ、北から南へ、山頂からふもとへ進んでいきます。

どうぞ、ご体調にご留意されお過ごしください。

<紙面から>

特集：補助器具センター  
生活援助員

・・・P.1～P.3

お知らせ・・・P.4

## 特集①：高齢者総合センター補助器具センター

補助器具センターでは、高齢者の自立した在宅生活を支援するために、補助器具（福祉用具）や住宅改修等に関し、ケアマネジャー等を通じて専門職が相談に応じる事業を行っています。介護保険開始前の平成 5 年に武蔵野市が先駆的に設置しました。福祉公社は以来 20 年に亘りその事業を担っています。

### 補助器具センタースタッフ



#### 補助器具センターの役割とは

小芝：ではまず、お二人に補助器具センターの役割について伺います。

堀家：ご利用者が在宅生活を円滑に営めるように環境を整えることを第一の目的にしています。住宅改修の助言と立案、福祉用具の選定と利用のアドバイスなど総合的にコーディネートします。

石橋：住宅改修のプランニングや福祉用具の選定のみでなく、ご利用者の日常生活動作のアドバイスも同時に行うことで、ご本人の自立度を高め、介護にあたるご家族も楽になることを目的としています。作業療法士 2 名で武蔵野市全域のご相談を受け付けています。

堀家：その他に専門職を配置して、ニーズに応じて言語聴覚士、理学療法士、日本コンチネンス協会認定排泄障害相談員、一級建築士が相談に応じています。それと介護保険の住宅改修事前申請審査や市独自の住宅改善、補助器具の貸与、給付事業も担っています。

小芝：様々な職種が配置され、サービスもユニークですね。市民の方が相談するにはどうしたら良いのですか。

石橋：ケアマネージャーや在宅介護支援センター、地域包括支援センターを通しての相談を基本としています。

堀家：相談者はもちろんのこと様々な専門職とチームを組んで要介護者と介護家族の支援にあたっています。

その中でも補助器具センターの立ち位置から専門職間のコーディネート役を心がけています。

小芝：生活の場に関する相談ということは実際にご自宅に訪問することが多いのでしょうか。

### 相談の実際と仕事のやりがい

石橋：はい。基本的に訪問相談です。特に住宅改修の場合は実際に、ご本人や介護環境を拝見して、工務店や建築士その他のスタッフと連携しながら進めていきます。

堀家：福祉用具についても、ご本人の使用状況を専門職の目から見てアドバイスします。また、リハビリや医療への橋渡しが必要と思われる時には他の専門職につなげるなど、多面的に対応しています。

小芝：在宅で生活される方にとって日常生活動作が少しでも楽になることは、とても大きいことですよ。

石橋：そうですね。福祉用具の導入だけで全てが解決するわけではありませんが、用具の導入や住宅改修は、日常生活動作の改善や生活の質の向上に対する効果が出やすいと思います。福祉用具を導入することで、利用者の方が以前できなかったことができるようになった時や、介護をされている方の負担が軽減されたと報告をいただいた時はとても嬉しいですし、仕事のやりがいを感じます。

小芝：ご利用者やご家族の喜びが担当専門職の喜びでもあるのですね。相談の対象になるのは、要介護の認定を受けた方だけなのでしょうか。

堀家：補助器具センターは在宅福祉におけるこの分野のネットワークの拠点です。自立を含む市内の高齢市民の方を対象にしています。在宅生活の質の向上が究極の目的ですので、加齢や疾病により日常生活動作が難しくなるなど支障が生じた場合は、まずはお近くの在宅支援センターや地域包括支援センター、ケアマネージャーにご相談下さい。

小芝：市内在住の全てのご高齢者の相談に応じるとのこと、補助器具センター20年のノウハウを活用して、これからも頑張ってください。今日は有難うございました。

## 生活援助員

### 特集②：シルバーピア緑町 生活援助員業務

シルバーピアとは高齢者向けの仕様を備え、生活援助員（LSA）・相談員等を配置した住宅です。福祉公社はシルバーピア緑町の生活援助員業務を市から受託しています。生活援助員は福祉公社の各部署と連携して業務を遂行しています。

#### LSAの役割とは

小芝：まず生活援助員の役割について教えてください。

若松：市から受託し、シルバーピアの居住者の方々に、必要に応じて日常生活指導、安否確認、緊急時における連絡等のサービスを行っています。私が働く都営住宅は63戸中の20戸がシルバーピアで、内10戸は元々武蔵野市に住まわれていた方、残り10戸は都内の他の地域から転入された方です。シルバーピアの居室には緊急用のコールが設置されており、電気・水道・ガスなどのインフラが12時間以上使われなかった場合は警報が鳴るしくみになっています。生活援助員はLSAとも呼ばれています。Life・Support・Adviserの略です。

小芝：高齢者の安全を守るために、いろいろな工夫がされているのですね。

若松：そのほかにも私は建物内のだんらん室で週に1回だんらん会を開き、居住者同士の交流を図っています。

また、「だんらん室だより」を発行して武蔵野市のミニ知識や良さを紹介するようにしています。

小芝：ご高齢者にとって安心のサービスが整っているのですね。入居の条件はあるのですか。

若松：65歳以上のお一人暮らしや高齢者のみの世帯で、他に収入要件などがあります。

自立して生活されている、お元気な方が多いですね。

#### ご入居者を見守るということ

小芝：今までに印象に残っている出来事はありますか。

若松：このあたりで浄水器を高額で買わされるという消費者被害があったと聞いて、入居者の方全員に話を聞いて



てみたら、お一人買った方がいることがわかりました。その時はすぐに消費者センターに連絡し、手を尽くした結果、全額返金されるに至りました。本当によかったです。

小芝：それは大変でしたね。若松さんが常に地域の事情にアンテナを張り、入居者の方を気遣ってこそ発見できたことですね。若松さんが仕事のやりがいを感じるのはどんな時ですか。

若松：やはり、「若松さんがいると心強いわ」と言ってもらえる時ですね。些細なことでも、入居者の方の力になれた時はとてもやりがいを感じます。

小芝：これからも入居者の方の心強い援助者でいて下さい！今日はありがとうございました。

### 恒例 北町高齢者センター はなみずき祭り 開催

北町高齢者センターのシンボルツリーは、“はなみずき”、開設は昭和62年10月10日です。

それにちなんで、毎年10月に、はなみずき祭りが開催されます。今年は10月19日（土）でした。

当日は、小雨まじりの肌寒い日でしたが、お蔭様で例年と同じにぎわいでした。

ご利用者59名を含む112名の皆様にお越しいただきました。誠に有難うございました。

ご利用者とボランティアの皆様が心をこめて作ったバザー用品、名物の焼き団子、厨房で手作りした五目ごはんや芋の子汁、どれもご好評を頂きました。

センターは地域に開かれた、地域の皆様が支えて下さっている施設です。その想いを改めて実感いたしました。また、センターには、いつも音楽があり、ご利用者とボランティアの皆様が作り上げた平安な調和があります。音楽の会ではご利用者とボランティアのハーモニーが響き、また、声楽家・大村剛士氏のミニコンサートもお楽しみいただきました。

ご利用者やボランティアの皆様、地域の方々、スタッフなどセンターに係る多くの方が素晴らしい時間を共有しました。また、この日のために数カ月をかけて準備して下さった運営委員とボランティアの皆様に改めて御礼申し上げます。

北町センターは音楽と共に



厨房手づくりの美味



心をこめた作品の数々



達筆ぞろい  
書道プログラムの力作



焼きかげん・たれ共に絶妙  
名物・焼きだんご



ボランティア慰労会

～伝統のピンク・エプロンでつながる仲間たち～



## 大野田福祉の会 高齢者総合センターへ

大野田福祉の会「地域を知って得しちゃおう！」企画の一環として、19名の方々が10月10日に高齢者総合センターにいらっしやいました。皆様はセンターの機能や役割、地域との関わりと取組み等の説明を受けた後、センターを見学されました。

高齢者総合センターは、地域の福祉資源として、いかに市民の皆様にお役に立てるかを日頃から心がけています。見学は大歓迎です。連絡先 51-1975

## 福祉公社からのお知らせ

### 高齢者総合センター設立20周年記念

#### ふれあい文化祭・デイサービスセンター作品展

いよいよ今月、ふれあい文化祭・デイサービスセンター作品展が開催されます。いつまでも、こころを若々しく保ち、生活や人生の様々な面でいきいきと過ごす武蔵野市民の姿がここにあります。

各種講座の活動発表、うたごえ喫茶“ともしび”のステージ、ルシア塩満の「アルパの調べ」コンサート、まちおこしや福祉の充実に取り組んでいる地域団体のコミュニティカフェ等々、催しも多彩です。費用はかかりません。是非お越しください。

日時 11月14日(木)・15日(金) 10時から16時

11月16日(土) 10時から15時

問合せ 社会活動センター (Tel.51-1975)

### 高齢者総合センター ウィンターコンサート

日時 12月18日(水) 13時30分から15時

場所 高齢者総合センター

出演 テノール 安富泰一郎 ピアノ 梅田麻衣子

申込方法・問合せ 社会活動センター (Tel.51-1975)

### 老いじたく講座・老いじたく相談会のご案内

福祉公社の在宅福祉サービスは30有余年に亘り、ご利用者を総合的に支えてきました。その蓄積から、望ましい老いじたくをご案内します。誰にでも訪れる老い。元気なうちから準備して、自分らしい尊厳ある老後生活を構築しましょう。

1 老いじたく相談会 (個別相談会)

日時 11月25日(月) 13時30分から16時30分

場所 高齢者総合センター

2 老いじたく講座 「エンディングノートを書いてみよう」

日時 11月26日(火) 11月27日(水)

13時30分から15時 (両日とも同一内容)

場所 福祉公社本部事務所

3 老いじたく講座 「老いじたくの基礎知識」

日時 11月28日(木) 13時30分から15時

場所 福祉公社本部事務所

\* 申込・問合せ 在宅サービス課後見係 (Tel.23-1165)

次号は平成25年12月10日発行予定です。



福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikoshiya.jp/>

### 武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

### 武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

### 武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)